

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

中北.com

チュウホクドットコム

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013



中北の地域社会 (COMmunity) の心の交流 (COMmunication) をめざします

地域教育振興のための連携を

中北教育事務所
所長 興水清司

季節は移り変わり、若葉がまぶしく目に映るさわやかな季節を迎えております。

皆様方におかれましては、日頃より中北教育事務所の社会教育・地域教育関係の業務に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

平成27年度がスタートして、1ヶ月余りが過ぎました。今年度の中北教育事務所のスタッフは、所長、副所長、次長、そして新たに地域学力向上推進幹を加え、地域教育支援2名、学校教育6名、総務4名の計16名に、スクールソーシャルワーカー4名、アドバンスティチャー4名を加えた総勢24名となります。組織の再編により、地域教育支援スタッフが昨年度の3名から2名となり、大変厳しい状況となりました。このような状況であるからこそ、これまで以上に各種団体との連携を強め、地域教育、社会教育の振興を図っていく必要があると考えております。ここで、当事務所地域教育支援スタッフが今年度、皆様のご理解とご協力を得ながら推進していく主な事業、業務をあげさせていただきます。

地域教育推進事業

「地域教育推進連絡協議会」の組織、運営、開催(峡中地区、峡北地区)

「地域教育フォーラム」(峡中地区・峡北地区合同)の企画、運営、開催

「中北.com」(地域教育情報誌)の発行

教育関係担当者の連携

「社会教育担当者会議」(県・管内市町)の開催

「地域教育スタッフ会議」(事務所)の開催

保・幼・小・中・高・特・大の連携事業

異校種間授業参観「公開できる授業等一覧」冊子の作成、運営

「子育て・教育相談窓口一覧」窓口の確認・冊子の作成、配布

異校種間のキャリア教育情報交換(高校生インターンシップ推進事業)

生涯各期の教育推進事業への参加・支援・運営協力

・子育て支援リーダー・ステップアップ講座 ・放課後子ども教室推進事業

・子どもクラブ指導者の研修等

・青少年育成関係事業

・山梨ことぶき勸学院 等



このように、中北教育事務所の地域教育支援スタッフは、県の社会教育事業の円滑な実施に努めるとともに、中北地域の教育関係諸団体や教育関係者と課題を共有し、互いの活動を理解、連携する中でその効果を高め、なお一層地域全体で取り組む教育の推進に寄与していく所存であります。また、県及び各市町における多様な学習機会の提供及び生涯学習推進体制の充実などへの取組を通して、やまなしの生涯学習環境づくりの一端を担っていきたくと考えております。

今後、地域教育支援スタッフが訪ねていきましたら、ぜひご意見やご要望をお聞かせください。そして、地域教育振興のために連携し、ともに力を合わせていきたくと思います。

本年度も関係各位の皆様方には、多方面にわたりご支援ご協力を、よろしくお願いいたします。

勸学院生の皆さん、御卒業おめでとうございます

- 平成26年度 山梨ことぶき勸学院卒業式 -

165名が晴れて卒業！

3月19日、コラニー文化ホールで平成26年度山梨ことぶき勸学院の卒業式が行われました。中北教室では33名・甲府教室では52名(全県で165名)が卒業証書を授与されました。各教室の代表者が卒業証書を授与され、学院長式辞の中で阿部邦彦教育長は、「人生の先輩として、希望に向かって進んでいく姿を示して欲しい。いくつになっても学び続ける姿は、社会の財産であり、希望である。今後も地域のリーダーとして、地域力の向上に向けて力を発揮



して欲しい」と述べられました。卒業生代表の北都留教室の加藤重義さんは、「卒業後は地域の一員として、勸学院で学んだ2年間をよりどころに新しい活動や学びを模索していく。そして、“支えられる”高齢者から“支える”高齢者として、地域社会のリーダーとして貢献していきたい」と、力強くあいさつをしました。最後に全員で2年間親しんできた学院歌を斉唱して、厳粛な内に卒業式を終えました。卒業生の皆様の、今後ますますのご活躍を御祈念申し上げます。



講演会「出会いの人生から学んだこと」

午後は、テレビでも活躍されている弁護士の菊池幸夫氏から「出会いの人生から学んだこと」と題して講演がありました。豊富な弁護士経験を通して、高齢者を狙ったオレオレ詐欺への注意喚起を促すと共に、地域との結びつきを深めながら、人生を豊かにして欲しいと学院生に呼びかけました。ユーモアを交えての軽妙な語り口に、会場は柔らかい雰囲気にながら講演に聞き入っていました。



圧巻！甲府大里幼稚園太鼓



講演会后、異世代交流プログラムでは、甲府大里幼稚園の園児約60名による和太鼓演奏が披露されました。勇ましく晴れやかな姿に身を包み、元気な和太鼓の響きを楽しませてくれました。幼稚園児とは思えないほどの勇壮な演奏と力強い演技で、勸学院の生徒の皆さんも、“孫(ひ孫?)”の活躍に拍手喝采でした。

いじめ防止対策推進法による保護者 - 子ども - 学校との関係の変容

～ 教職員が最も大切にすべきこと～

大阪大学大学院 人間科学研究科 小野田 正利 教授

平成26年度 山梨県総合教育センター 研究発表大会 講演 より

平成27年2月24日に、山梨県総合教育センターの研究発表大会が開かれました。内外教育に「モンスターペアレント論を越えて」を執筆中の小野田正利先生の特別講演が行われました。熱弁を振るわれた先生の講演の一部です。



記録の取り方が明暗を分ける

1. 事実の記載に努める

重大事故が起こったときの記録には「感情を抑えて、無味乾燥な表現で、事実を淡々と書く」ことが必要です。

×「居留守を使っていた。」

「18時30分よりA君宅の玄関ベルを3回鳴らしたが、応答がなかった。家の電灯は点いており、電気メーターは勢いよく回っていた。」

記載者の先入観や予断が記録化に良くない影響を与えることも多い。ノートの左ページには記録を書き、自分の意見や感想は右ページに書き込む習慣をつけると良いでしょう。

2. まずは個別に記憶を書き出す

重大事故が起こってしまった後で一番大事なことは、まず全職員がその日自分が体験した出来事を書き出すことです。書くことによって自分の記憶を固定した上で、みんなで何があったかを話し合う作業をするという順番を守ってください。みんなで話し合いをする際に、声の大きい人が事実と違う勘違いをされていて「こうだったよね。」と先に言ってしまうと、みんなの記憶が塗り替えられてしまうことがあります。

みんなの記憶が微妙にずれていることがありますが、それで構わないのです。動かない部分を重ねていくと、おぼろげにこんなことだったんだろうという部分が浮かび上がってきます。こういうやり方で事実認定をしていきます。

重大事案では、混乱の中で動揺やうろたえることが多いですが、だからこそ、個人の冷静な記憶の固定が肝要なのです。

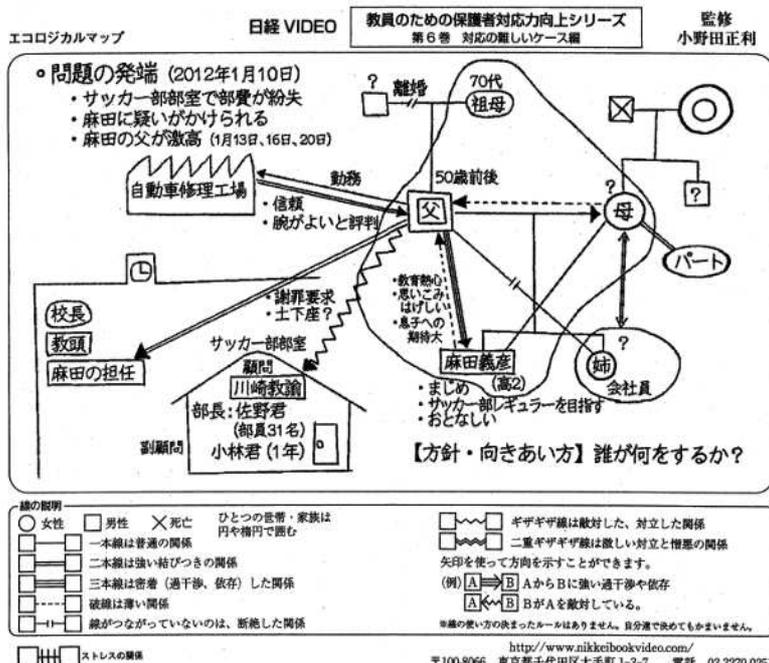
「エコロジカルマップ」のすすめ

1. 情報の正確な共有を行うために

ある保護者対応トラブルが生じたときでも、教職員は本当にたくさんの情報を持っています。渦中にある担任教師以外にも、打開策を検討するに十分な情報が潜在的に転がっています。校長・教頭・養護教諭・学校事務職員・前の担任・部活動顧問などから情報を正確に集めて、顕在化し共有することが、問題解決の「はじめの一步」になるのです。

2. 問題構造と人間関係の「見える化」

文字情報よりも図を使った方が共通イメージを作りやすいです。図を見ながらだと、容易に、打つ手を考え、誰がいつまでに何をするのかの方針を立てて実行し、その結果をみんなで検証しながら、次の手段を模索することが可能となるのです。



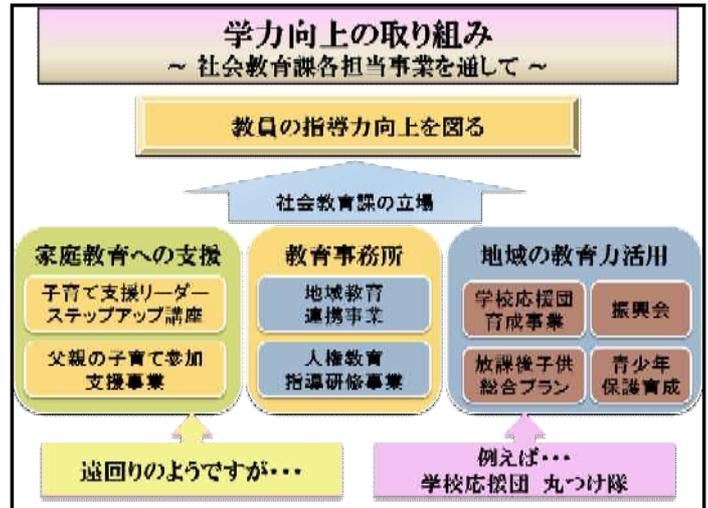
社会教育と学力向上～社会教育課各担当事業を通して～

新年度となり、それぞれ忙しい日々を送っていると思います。年度初めに、それぞれの事業が、社会全体の大きな枠組みの中でどんな役割を果たしているのか、その目標は何なのかぜひ考えていただきたいと思います。

県内の教育界における喫緊の課題のひとつとして、「学力向上の取り組み」があげられます。本年度より、県内の各教育事務所には「地域学力向上推進幹」が配属され、学力向上へ向けて取り組みの充実が図られようとしています。

学力向上というと、学校や教員に責任が委ねられてしまうことが多いですが、実際は、家庭や地域の教育力の影響が圧倒的に大きいと考えられます。毎日机に向かう学習習慣の形成、新しいことを不思議に思う心や、その疑問を追求する態度の育成には、家族をはじめとする周囲の人間が、励ましたり、見本を示してやる必要があります。ここに社会教育の意味があると考えます。

中北教育事務所・地域教育担当では、それぞれを対象とした社会教育課の各事業に協力しています。幼児・母親(子育て支援リーダー・ステップアップ事業、父親(父親の子育て参加支援事業)、祖父母(ことぶき勸学



院)、地域(地域教育推進連絡協議会、学校応援団、社会教育振興会、放課後子ども総合プラン、青少年保護育成事業など)と、それぞれを対象とした事業を通して学力向上の取り組みに参加しています。

皆様も、ぜひご自分のため、また、よい社会を築くために、社会教育事業にご参加ください。



お知らせ

- ・子育て支援リーダー・ステップアップ事業
5月13日(水)申し込み締め切り
各市町へ申し込み
- ・やまなし少年海洋道中
5月13日(水)申し込み締め切り
各市町へ申し込み
- ・社会教育指導者研修会
6/3, 6/24, 6/30に実施
山梨市民会館にて
5月25日(月)申し込み締め切り
社会教育課社会教育振興担当へ

- ・青少年の非行・被害防止県民大会
7月9日(木)実施
甲府市総合市民会館にて
- ・峡中・峡北地域教育推進連絡会議
6月23日(火)に実施
北巨摩合同庁舎にて
- ・峡中・峡北地域教育合同フォーラム
10月28日(水)に実施
日本航空学園 J-shipホールにて

峡中地区・峡北地区 地域教育推進連絡協議会

期 日：平成27年 6月 23日(火) 14:00～16:30
テーマ：「子どもの貧困の現状」

講 師： 湯浅 誠 氏
(法政大学教授、社会活動家)

平成27年度 『中北.com』 1
編集・発行 中北教育事務所 地域教育支援
担当 飯田 野崎
〒407-0024 韮崎市本町4-2-4
電話 0551-23-3046
Fax 0551-23-3013

中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>